

令和3年度新型コロナ緊急生活支援ネットワーク事業【箕輪町】

地域の実情と課題

町が実施している困りごと相談数は109件(令和2年度)経済的なこと、仕事・就職が7割を超える。
困りごと相談の利用者の半数は外国籍で、その内4割が女性である。
町が実施している女性の就業相談は129人(令和2年度)前年比1.2倍となっている。

目的・目標

コロナ禍において孤独・孤立で不安や困難を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、町社会福祉協議会や民間団体の取組を活用し、きめ細かい継続的な支援を実施する。
SOSネットワークによる相談会における相談件数 目標150件
町での生活に満足している人の割合 80%(R7)

事業の特徴

町社会福祉協議会と民間団体の取組を活用し、きめ細かい継続的な支援を実施。社会福祉協議会、医療生協、労協、県、地域、行政などの多角的な支援の実施

連携団体

SOSネットワーク
箕輪町社会福祉協議会
上伊那医療生協
労協ながの
伊那谷みずなら法律事務所
町内企業
木下区
箕輪町

事業の効果

SOSネットワークによる相談実績 314件
相談会をきっかけとして民間事業者間の連携を図ることができた。

今後の課題

相談会に寄せられた、女性の声を、福祉行政に生かしていく必要がある。